

# ★自分の目でみつけてみよう★

## ☆織姫星・彦星(おりひめぼし・ひこぼし)

頭の上を見あげると、明るい星が3つ、ベガとデネブとアルタイルで「夏の三角形」と呼ばれている大きな三角形ができます。その中の「こと座のベガ」が織姫星「わし座のアルタイル」が彦星です。空の暗いところなら、七夕のお話のとおり、2つの星の間に天の川を見つけることができます。

## ☆天の川(あまのがわ)

街をはなれ空の暗いところに行くと天の川が見えることがあります。ぼんやりとした、細長い雲のように見えますが、その正体はたくさんの星の集まりです。

## ☆流れ星(ながれぼし)

毎年8月12日ごろは、流れ星がよく見られます。「ペルセウス座 流星群(りゅうせいぐん)」と呼ばれ明け方ほどよく見えます。今年は13日3時ごろがピーク。日付が変わる前に月が沈みますので夜中以降が観察のチャンス。いくつ見られるかチャレンジしてみましょう。

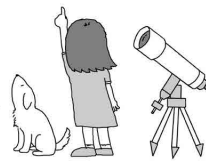
## ～二重星(にじゅうせい)～

目で見ると1つの星なのに、望遠鏡で見ると2つ星が見える、そんな「二重星」と呼ばれる星が星空の中にはたくさんあります。おすすめは、はくちょう座のくちばしの所にある「アルビレオ」で、青と黄色の星が見えます。

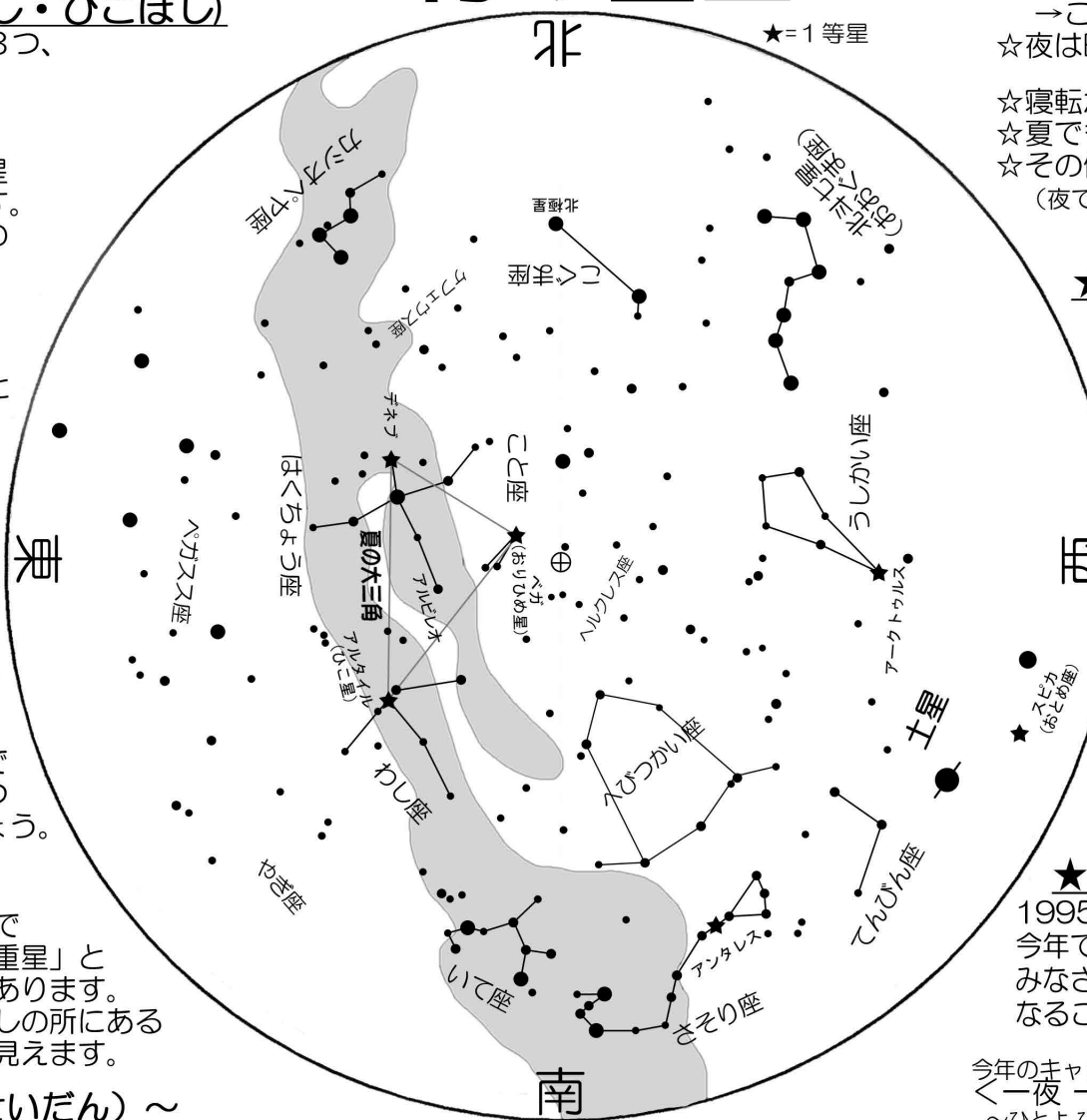
## ～星雲・星団(せいうん・せいだん)～

天の川にそったあたりには、雲のような星雲や、星がたくさん集まった星団がたくさんあります。双眼鏡があったら、ぜひ探検してみましょう。

## ★双眼鏡や望遠鏡を使ってさがそう★



# 8月の星空



～この星空が見えるのは～  
8月1日夜9時ごろ  
15日夜8時ごろ  
31日夜7時ごろ

～月のようす～  
7日/新月 14日/上弦  
21日/満月 28日/下弦

★この図のみかた★  
⊕印のついているところが頭の真上です。見たい方角を向き、その方角の文字が正しく読めるように持ち、頭の上にかざして実際の空と見くらべてみてください。

# ★星を見に行く時にはこれを持って★

- ☆星の場所を知るために  
→このリーフレットや星座早見盤
- ☆夜は暗い！足元は大丈夫？→懐中電灯  
(赤いセロファンで光を弱くしてね)
- ☆寝転がって見よう→ビニールシート
- ☆夏でも夜は寒い→あたたかい服
- ☆その他→虫よけ・防犯ブザー…etc.  
(夜でかけるときは必ずおとなの人といっしょに！)

## ★七夕の星・見えるかな？★

7月7日の七夕は、まだ梅雨があけていないことが多く、七夕の星はなかなか見られない…とっている人もいますのでは？実は江戸時代まで使われていたカレンダーは、現在わたしたちが使っているものと仕組みがちがひ、日付も1ヶ月ほどずれています。昔のカレンダーでの七夕(伝統的七夕)は、8月13日。ペルセウスの極大日です！明かりを消し普段より暗くなった夜空で、七夕の星と流れ星に願い事をしてみませんか？

### <伝統的七夕ライトダウン2013>

一星に願う2日間

<http://7min.darksky.jp/>

## ★19年目のスター・ウィーク★

1995年からはじまったスター・ウィークは今年で19回目になりました。みなさんが気軽に星空を見上げるきっかけになることを、めざしています。

今年のマッチコピーは…  
＜一夜 一夜に 星見頃＞  
～ひとよ ひとよに ほしみごろ～

三重県・増田木綿子さんの作品  
「天気が良ければ 毎晩星を見ています。一晩一晩、いつも星空が違うということを実感しています。いつも星空は違っていても同じ星空はないので、見上げた時が「星見頃(ほしみごろ)」  
たくさんの方に、いつも星空を見上げて欲しいと思います。」

